

Ⅱ 事業の概要

2012年度に行われた学校法人及び設置学校における事業の概要は、次のとおりです。URLがある場合は、ここから当該事項の詳細を御覧いただけます。

1 重点施策の推進

(1) 学校法人明治大学長期ビジョン（将来像）の実現に向けて～中期計画の策定

学校法人明治大学長期ビジョン（以下「長期ビジョン」という。）は、将来にわたり、本学が「新しい知の創造」及び「時代の要請に応える人材の育成」の拠点であり続けるとともに、世界に大きく飛翔するため、現在に至るまでの明治大学の強みと弱み及び可能性を見極め、創立150周年を見据えつつ、当面する今後10年間の強化の方向性及び理念について定めたものです。

※http://www.meiji.ac.jp/chousaka/longterm_visions.html

この長期ビジョンの実現に向けて、2012年度は、次のとおり、委員会の設置及び中期計画策定・推進に向けた体制の構築を行いました。

ア 本学にとって財政基盤の確立・強化は急務であり、財政的な見通しを立てることは中期計画を策定する前提となります。そこで、理事会の諮問機関として本学の財政戦略に関する基本方針を策定する**学校法人明治大学財政検討委員会**を設置し、答申に向けた検討を行っています。

イ 上記アの財政検討委員会において検討している財政的な見通しを踏まえ、長期ビジョンを具体化し、実現するための中期計画を策定する**学校法人明治大学中期計画策定委員会（仮称）**の設置を決定しました。

(2) 次世代教育の強化

ア 本学の魅力を「i Meiji」で感じる

全世界で200を超える大学等において導入・活用され、日本では本学が初めて2012年3月に導入した教育機関向けモバイルシステム「Blackboard Mobile Central」の明治大学版アプリ「**i Meiji**」（iOS版）について、このAndroid版もリリースしました。他のアプリやWebページを開かなくても明治大学のキャンパスライフに必要な情報はこれ一つで入手できます。日本語・英語の切替えにも対応し、留学生のほか世界でも利用可能となっており、在学生、受験生、校友等に本学の魅力を感じてもらえる有効なツールとなっています。

※<http://www.meiji.ac.jp/ubiq/imeiji/>

イ 情報活用能力を高める

全学共通科目である「**情報関係科目**」は、全ての学部に通ずる情報教育を提供することを目的としています。21世紀を生きる学生は、情報通信技術の急激な進歩に伴い、これを使いこなす情報活用能力が求められています。2012年度の新カリキュラムでは学部の専門科目において必要なICTスキルを習得することができるよう、情報関係科目のカリキュラムの内容を見直しました。現代社会のニーズに対応する科目の設置及び学生の選択の幅の拡大により、各自のニーズに合わせた科目履修が可能となりました。

※<http://www.meiji.ac.jp/wsys/ict/index.htm>

ウ eラーニング（メディア授業）の推進・eプレゼン・コンテストの開催

2007年度後期から運用を開始したeラーニング（メディア授業）は、2012年度、資格課程、司書講習（社会人対象）、経営学部等で展開しており、今後も継続して推進していきます。また、2011年度に開催した日本で初めてとなるインターネットによるプレゼンテーションコンテスト「eプレゼン・コンテスト」を2012年度も開催しました。eプレゼンテーションとは、PowerPoint、写真、イメージ、動画等の様々な資料を取り込んで、その内容をプレゼンテーション形式で説明するコンテンツのことで、コンテスト上位入賞者の韓国研修、韓国・嶺南大学校との学生交流イベント「eプレゼン国際学生交流ワークショップ」も実施しました。

※<http://www.meiji.ac.jp/ubiq/index.html>

エ 多様な教育・学習活動の支援

Oh-o! Meiji システムは、大学生活に関するお知らせを各自に配信する「ポータル」、授業資料、レポート提出等の授業情報にアクセスする「クラスウェブ」、曜日・時限、教員名等で授業を検索する「授業検索」等の機能があります。19,000 コマを超える授業が登録され、35,000 名の学生と2,500 名の教職員をつないでいます。2013年3月には、より一層「使い勝手の良いシステム」・「多様な教育・学習活動を支援するシステム」を目指して再構築を実施しました。

(3) 社会に有用な人材の育成～国家試験対策の指導強化・充実

本学では国家試験指導センター（法制研究所・経理研究所・行政研究所）を設置して資格取得及び職業能力の向上を志す本学学生及び卒業生を支援し、社会に有用な人材を育成しています。2012年度の主な実績は次のとおりです。

ア 司法試験に82名が合格

大学別では昨年と同様の第6位。（前年度90名）合格率は20.4%。

イ 国家公務員総合職試験に14名が合格

本学からは14名が合格しました。（前年度11名）うち女子は7名となっています。（前年度なし）

国家試験指導センター行政研究所では、2012年度国家公務員総合職試験に最終合格した同センター所属学生への報奨金授与式を執り行いました。

ウ 公認会計士試験に78名が合格（経理研究所調査）

国家試験指導センター経理研究所では、2012年度公認会計士試験現役合格者への報奨金授与式を執り行いました。

(4) アップトゥデイトな情報発信～各種広報活動の展開

広報戦略本部を設置して教育研究の諸活動を戦略的に広く学外に発信する広報体制を強化してきました。ホームページ、「明治大学広報」、広報誌「M-STYLE」、広報誌「明治」等の紙媒体のほか、各種媒体を通じた情報発信、メディア・記者に対するプレスリリース等により、「旬（しゅん）」の明治大学の情報を学外に発信しています。

ア 中野キャンパス開設・総合数理学部新設の周知のため、ラッピング電車（JR総武線）・ラッピングバス（関東バス）の運行、山手線沿線14駅に大型看板を設置するなど各種広報活動行いました。

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20120801/p05_04.html

※http://www.meiji.ac.jp/koho/blog/001/wrapping_20120404.html

イ 創立130周年記念事業広報の一環として企画制作した「**創立130周年特設ウェブサイト**」が、日本B to B広告協会主催「2012日本B to B広告賞」ウェブサイト（コーポレートサイト）の部において金賞を受賞しました。

※<http://www.meiji.ac.jp/koho/news/2012/6t5h7p00000bylnk.html>

ウ 体育会の活動を海外に紹介する英語サイト「**Meiji University and Sports**」を公開しました。

※<http://www.meiji.ac.jp/cip/english/sports/>

(5) 卒業生とのヒューマンネットワーク

ア 第15回ホームカミングデーの開催（10月21日）

駿河台キャンパスにおいて開催し、4,141名の校友、家族等が来場しました。

イ 本学出身の市区長との懇談会を開催（6月5日）

駿河台キャンパスにおいて開催し、理事長、学長等大学役員のほか校友会長、全国各地で社会的リーダーとして活躍している本学出身の市区長が参加して活発な意見交換を行いました。

ウ 本学出身の政財界人と懇談会を開催（2013年3月6日）

本学出身の国会議員及び首長のほか一部上場企業の社長・会長等、政財界で活躍されている校友を招いて、政財界が期待する本学の役割等について活発な意見交換を行いました。

エ ヒューマンネットワークの拡大～新たな地域支部と海外団体へ会旗授与

本学から、校友会が2012年度に新たに承認した次の3団体に対して会旗を授与しました。

(7) 「座間地域支部」（神奈川県西部支部所属）

(4) 「紫紺の集い・ジャカルタ会」（インドネシア、6番目の海外公認団体）

(9) 「清瀬地域支部」（東京都多摩支部所属）

(6) ステークホルダーからの支援～募金活動の推進

2012年度に明治大学が受けた寄付金の総額は、約4億1,400万円（前年度約7億8,000万円）でした。

ア 未来サポーター募金

未来サポーター募金は、寄付者の意思が反映しやすい用途選択型募金として2010年に創設し、奨学サポート、国際化サポート、研究サポート、スポーツサポート及びキャンパス整備サポートの5つの資金から構成されています。主な募集対象者は、校友、教職員、一般篤志家の個人・団体・法人となっています。2012年度は、未来サポーター募金に対し、2,203件、約1億6,900万円の寄付をいただき、寄付者に対しては寄付金額に応じた**顕彰制度**を実施しました。10月21日にはホームカミングデーの開催に合わせて、個人100万円以上、団体・法人500万円以上の寄付者の方々を本学に招待し、寄付者交流会を開催しました。また、いただいた寄付の利用状況、寄付者芳名等を掲載した明治大学広報募金特別号を年2回（9

月・1月)作成し、全国の校友に送付しました。

なお、奨学サポート資金の獲得を目的として募集を始めた**本棚募金**には、1,288件、約14万7,000冊、約260万円の寄付をいただきました。

イ 教育振興協力資金

教育振興協力資金は、本学の教育・研究の充実・発展に必要な経費として活用するための資金であり、主に学部生父母、附属明治高等学校・中学校の新入生父母を対象に募集しています。2012年度は、4月と11月の年2回趣意書を発送して募集を行った結果、456件、約3,600万円の寄付をいただきました。

ウ その他寄付金

その他の寄付金として、学術研究奨励寄付金、校友会奨学金、附属明治中学校・高等学校創立100周年記念事業積立金等、合計約2億900万円の寄付をいただきました。

(7) 世界トップクラスのグローバルユニバーシティを目指して～国際大学との系列法人協定の締結

本学は、2013年1月に学校法人国際大学との間で系列法人化に関する協定書を締結しました。この協定書は、相互の建学の理念を尊重の上、法人間の連携及び教育研究活動の包括的な交流と連携・協力を推進することによって、両法人の目指す「世界トップクラスのグローバルユニバーシティ」の実現を目指し、相互に事業計画及び教育研究活動の支援を行っていくもので、2013年4月から実施します。本学から学校法人国際大学に理事の過半数等を派遣します。国際大学は、すべて英語により授業を行う大学院大学であり、英国エコノミスト誌MBAランキングに日本で唯一の世界トップ100に入っています。国際大学との連携強化により、本学の国際化をより一層、推進していきます。

※<http://www.meiji.ac.jp/koho/news/2012/6t5h7p00000edper.html>

(8) 学校法人の管理・運営

ア 新理事会の発足

2012年4月1日付け(監事は同年6月1日付け)で新役員が就任し、新理事会が発足しました。(理事11名及び監事3名、任期は4年)

イ 学校法人明治大学寄附行為の改正

2013年度から本学に**総合数理学部(現象数理学科、先端メディアサイエンス学科及びネットワークデザイン学科)**を設置することに伴い、寄附行為の当該条項の改正を行いました。

ウ 制度改革の実施

評議員総数、評議員銓衡委員の委員数及び理事の人数に関わる見直しを行いました。

エ 事務組織の改編

2013年4月から**中野キャンパス**を開設するため、中野キャンパスに関わる事務組織の改編を行い、**中野キャンパス事務部(中野キャンパス事務室、中野教務事務室及び中野教育研究支援事務室)**を設置しました。(2012年7月5日施行)また、教学企画部グローバルCOE推進事務室を廃止すると

ともに、**教学企画部評価情報事務室**を設置しました。(2013年4月1日施行)

2 災害への対応・復興支援

(1) 今こそ復興支援を～震災復興支援センターの活動

東日本大震災から2年が経過しましたが、必ずしも順調に復興が進んでいるとは言えない状況です。これに対し、本学では2012年度も東日本大震災における被災地及び被災者の復興を支援するために設置した明治大学震災復興支援センターを中心として、様々な復興支援を行いました。

※<http://www.meiji.ac.jp/gakuch/reconstruction/index.html>

ア 浦安ボランティア活動拠点における活動 (被災状況調査, 被災地の物産販売, 講演会・報告会の開催, 市内各小中学生への教育支援等)

イ 東北再生支援プラットフォームにおける活動

岩手県・宮城県・福島県にまたがる広域被災地における必要な支援の継続

※ 本学は福島県新地町, 岩手県大船渡市及び宮城県気仙沼市との間で震災復興に関する協定を締結しています。

(2) 「その時」に備えるために～防災・危機管理体制の確立

大規模災害の発生等を想定し、多数の学生、教職員等が所属する本学では、学生用・教員用・職員用といったカテゴリーごとの災害発生時対応マニュアルを作成するとともに、駿河台・和泉・生田の各キャンパスにおいて複数回の防災訓練を実施し、災害時に対処できる準備体制を構築しました。また、本学は、千代田区との間で「**大規模災害時における協力体制に関する基本協定**」も締結しており、2013年3月11日には、今後発生が予想される首都直下地震等大規模災害時における帰宅困難者への支援体制を確立させるため、千代田区と連携した実践的な**帰宅困難者対応訓練**を実施しました。また、中野区との間においても「**災害時における協力体制にかかる基本協定及び関連実施細目**」を締結しました。(2013年3月28日)

※<http://www.meiji.ac.jp/gakuch/activity/2012/6t5h7p00000efohz.html>

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20130401/p03_01.html

3 学部・大学院の整備等

(1) 学部・大学院教育の進展整備

学部・大学院の設置以降、完成年度まで引き続き教育環境の整備を行いました。

ア 大学院理工学研究科新領域創造専攻博士後期課程 (完成年度: 2012年度)

イ 大学院情報コミュニケーション研究科情報コミュニケーション学専攻博士後期課程 (完成年度: 2012年度)

ウ 大学院教養デザイン研究科教養デザイン専攻博士後期課程 (完成年度: 2012年度)

エ 大学院文学研究科文芸メディア専攻修士課程 (完成年度: 2012年度)

オ 大学院先端数理科学研究科現象数理学専攻博士前期課程 (完成年度: 2012年度)

カ 大学院先端数理科学研究科現象数理学専攻博士後期課程 (完成年度:

2013年度)

キ 大学院国際日本学研究科国際日本学専攻修士課程（完成年度：2013年度）

(2) 大学院研究科の課程変更

2014年度施行に向けて、必要な準備を行いました。

大学院国際日本学研究科国際日本学専攻修士課程から博士課程への変更（2014年4月変更予定）

(3) 学部・大学院の開設準備

開設に向けて必要な準備を行いました。

ア 総合数理学部（2013年4月開設）

入学定員 260(現象数理学科:80, 先端メディアサイエンス学科 100, ネットワークデザイン学科 80)

収容定員 1,040(現象数理学科:320, 先端メディアサイエンス学科 400, ネットワークデザイン学科 320)

※<http://www.meiji.ac.jp/ims/outline/index.html>

イ スポーツ科学部（仮称）

ウ 大学院グローバル・ガバナンス研究科（仮称）

(4) 学部入学定員及び収容定員の変更

2013年度から、法学部、商学部、政治経済学部、情報コミュニケーション学部及び国際日本学部の入学定員及び収容定員を次のとおり変更することとしました。（2013年度～2015年度の収容定員は経過措置を定める。）

	入学定員	収容定員
法学部	900名 → 800名	3,600名 → 3,200名
法律学科	900名 → 800名	3,600名 → 3,200名
商学部	1,020名 → 1,000名	4,080名 → 4,000名
商学科	1,020名 → 1,000名	4,080名 → 4,000名
政治経済学部	1,030名 → 1,000名	4,120名 → 4,000名
政治学科	260名 → 250名	1,040名 → 1,000名
経済学科	620名 → 610名	2,480名 → 2,440名
地域行政学科	150名 → 140名	600名 → 560名
情報コミュニケーション学部	400名 → 450名	1,600名 → 1,800名
情報コミュニケーション学科	400名 → 450名	1,600名 → 1,800名
国際日本学部	300名 → 350名	1,200名 → 1,400名
国際日本学科	300名 → 350名	1,200名 → 1,400名

また、経営学部内の学科定員を見直し、2015年度から経営学科の入学定員を380名から400名に、収容定員を1,520名から1,600名に、会計学科の入学定員を170名から150名に、収容定員を680名から600名に変更することとしました。（2015年度から実施、2015年度～2017年度の収容定員は経過措置を定める。）

4 教育研究環境の整備

教育研究活動をより一層、円滑に実施するとともに、活性化して、本学の新たな可能性を追求していくために教育研究環境の新たな整備を行いました。

(1) 駿河台から世界に発信～GLOBAL FRONT（グローバルフロント）

「世界に発信する最先端の研究拠点と陶冶の場」をコンセプトに、リバティタワー及びアカデモコモンと並ぶ高層棟として駿河台キャンパス（C地区）に**GLOBAL FRONT（グローバルフロント）**が竣工し、2013年4月から利用を開始します。人文・社会系の大学院生の活動を1か所に集約し、他大学、自治体、企業等と連携しつつ多様な分野で国際的な研究を推進し、世界的水準の研究拠点を形成していきます。大学院事務室、研究知財事務室及び国際連携部の各事務室も移転します。



グローバルフロント

(2) 新しい知の宝庫～和泉図書館



和泉図書館

「人と人・人と情報を結ぶ架け橋（リエゾン）」を基本コンセプトとして、2012年5月1日に和泉図書館が開館しました。和泉キャンパスのシンボリックな建物である和泉図書館は、「入ってみたいくなる図書館」を目指し、特に人文・社会科学系の資料を多数収蔵し、シンボル性とメッセージ性及び空間的ゆとりで代表される内観の居心地の良さが人々を魅了します。

※<http://www.lib.meiji.ac.jp/use/izumi/index.html>

(3) 生田キャンパスにおける教育研究環境の充実・地域への貢献

生田キャンパスにおいても2012年4月から理工学部応用化学科、機械工学科及び機械情報工学科の研究室、基礎化学実験室等により構成されている教育・研究棟として**第二校舎D館**が利用を開始しています。同じく生田キャンパスにおいて2012年3月に開設し、本学の技術シーズ・知的資源を活用した新技術・新事業の創出等を目的とした**地域産学連携研究センター**は、同年4月から施設の貸出しを開始しました。その後も同センターは、利用者の多様なニーズに応え、施設稼働率上昇のため、利用料金等貸出しの見直しを行いました。

※<http://www.meiji.ac.jp/cii/index.html>

また、第一校舎6号館（仮称）の建設計画も推進しています。



第二校舎D館



地域産学連携研究センター

(4) 明治大学第4のキャンパスが動き出す～中野キャンパス

2011年6月から工事を開始し、2012年度に開設準備を進めてきた**中野キャンパス**がいよいよ2013年4月に開設されます。中野キャンパスでは、「**国際化・先端研究・社会連携の拠点キャンパス**」として、**国際日本学部及び新設の総合数理学部**のほか、複数の大学院研究科及び研究機関が活動を展開していきます。新たなキャンパスが国際化をリードし、本学の先端研究を集約の上、その成果を世界に発信するとともに、社会との連携を推進していきます。



中野キャンパス外観・内装等

(5) 地域と大学の連携による多目的な都市型農場～黒川農場

2012年4月から利用を開始した**黒川農場（神奈川県川崎市麻生区）**は、体験型実習教育及び研究活動に対応できる多目的な都市農場を実現するため、3つのコンセプト（環境共生・自然共生・地域共生）を基本として、自然を最大限に生かした設計により、先端技術を駆使した生産効率の高い栽培システムと有機農法をはじめとする環境保全型システムを併せ持っています。

2012年度も自然生態園一般開放、収穫祭等を実施しており、今後も未来型アグリエコファームを目指して、農場教育及び社会人教育、地域と大学との連携等について、より一層推進していきます。

※<http://www.meiji.ac.jp/agri/kurokawa/index.html>



温室・実習圃場



アカデミー棟



自然生態園

(6) スポーツパーク（仮称）等整備計画

旧多摩テック跡地（東京都日野市）において、本学体育会所属運動部を強化し、学生競技スポーツの振興を図るための練習施設・学習環境・住環境の整備を図ることなどを目的とした**スポーツパーク（仮称）**の整備計画を進めています。併せて、同パーク内に**スポーツ科学部（仮称）**の新設も予定しており、継続して、今後も**南多摩キャンパス**として推進していきます。

5 教育研究活動

(1) 教学運営体制の整備

2012年4月からの新体制では、学長の下に総合政策、教務（教務部長兼

務)、学務(学生部長兼務)、研究、社会連携、国際交流及び広報(学長室専門員長兼務)を担当する7名の副学長を配置しました。併せて、2012年度から副教務部長を2名から4名に増員し、主担当者・副担当者制による業務分担を明確にしました。

また、大規模の地震、風水害(台風等)、放射能被害、停電、インフルエンザ等の感染症の流行等、緊急対応が必要な事態が発生した場合には、学長の下に総合政策担当、教務担当、学務担当及び広報担当の各副学長によって構成される教学防災本部を設置して全学的に対応できる体制を構築しました。

(2) 教育関連活動

ア 「大学教育改革地域フォーラム2012 in 明治大学」開催(7月13日)

文部科学省との共催により、「なぜ日本の学生の学修時間は短いのか」をテーマに駿河台キャンパスのアカデミーコモンにおいて開催しました。文部科学大臣も参加し、本学教員のほか財界人、学生等約200名が意見を交わし、会場は熱気に包まれました。

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20120801/p01_01.html

イ 「教育改革FD/ICT理事長・学長等会議」開催(8月7日)

私立大学情報教育協会(会長:向殿政男本学理工学部教授)の主催により、「大学教育の質的転換を図る主体的な学修の実現を考える」をテーマとして、80大学・短期大学から約150名が参加し、駿河台キャンパスのリバティホールを会場として開催しました。このフォーラムは、大学における教育の質の向上を図るため、IT活用戦略や大学教員の教育能力向上等を研究討議する場として毎年開催されています。

ウ 「特別聴講学生」の新設

本学と他の大学との間で締結する協定に基づき、他大学の学生が本大学の授業科目を履修する場合、当該学生に対する学生の身分に関する定めがないことから、当該学生のために新たな学生の種別として「特別聴講学生」を設けることとしました。(施行は2013年4月1日)

(3) 時代をリードし、社会に貢献するための研究力～研究関連活動

学長を機構長とする**研究・知財戦略機構**(以下「機構」という。)は、本学における研究活動を統括し、世界のトップユニバーシティを目指し、世界的水準の研究を推進するため、重点領域を定めて研究拠点の育成を図り、研究の国際化を推進するとともに、その成果を広く社会に還元することを目的としています。2012年度においても機構の下に設置されている研究政策の企画・立案から実行を担う**研究企画推進本部**及び産官学連携活動を推進する**研究活用知財本部**を両翼とし、さらに、附属研究機関・附属研究施設等において研究活動を推進してきました。各研究機関等における2012年度の主な研究活動は次のとおりです。※<http://www.meiji.ac.jp/osri/index.html>

ア 競争的研究資金の獲得

主な学外の競争的研究資金は次のとおりです。その他、学内の競争的研究資金として、研究所研究費、大学院研究科共同研究、新領域創成型研究・若手研究、震災復興支援・防災研究プロジェクト等があり、研究活動の推進・活性化を図っています。

※<http://www.meiji.ac.jp/research/promote/present.html>

(7) 文部科学省「平成24年度科学研究費助成事業」

本学の採択件数は、新規・継続分を合わせて**279件**（前年度260件）で、補助金交付総額は、**過去最高の約5億2,700万円**（前年度約5億2,400万円）となりました。

(4) 文部科学省平成24年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」

この事業は、大学の経営戦略や研究戦略に基づいて、各大学が特色を生かした研究を実施するため、その研究基盤の形成を支援する事業です。本学からは次の1件が採択され、2012年度は合計9件の事業を推進しました。

【事業名】

組織情報倫理学：営利および非営利組織における情報倫理問題への対応のための政策提言に関する研究

【研究代表者・研究期間】

村田 潔 商学部教授 2012年度～2016年度

イ 世界に向けた研究発信

(7) 日本海とオホーツク海の広い海域に複数の表層ガスハイドレートを発見

明治大学ガスハイドレート研究所（代表者：松本良特任教授）を中心とする「表層ガスハイドレート研究コンソーシアム」が調査を行った結果、上越沖と同様の表層ガスハイドレートが日本海とオホーツク海の複数の海域に分布することを明らかにしました。

※ ガスハイドレートは、メタンやエタンなどの炭化水素ガスと水分子がつくる氷状の固体物質であり、新しい天然ガス資源として注目されています。

※<http://www.meiji.ac.jp/osri/topics/2012/6t5h7p00000dxjls.html>

(4) ブタ体内で膀胱再生に成功・遺伝子改変ブタの増殖に関わるミュンヘン大学との技術交流

本学農学部の長嶋比呂志教授と東京大学医科学研究所の中内啓光教授らの研究グループは、遺伝子導入と体細胞クローニング技術を用いて膀胱のないクローンブタを作ることに成功しました。また、長嶋教授が所長を務める明治大学バイオリソース研究国際インスティテュートと農学部生命科学科発生工学研究室の研究員、学生等がミュンヘン大学の通称で知られるドイツのルートヴィヒ・マクシミリアン大学の分子動物育種・バイオテクノロジー研究所の機能遺伝子解析研究室（LAFUGA）を訪問し、遺伝子改変ブタを効率よく増殖させるための技術交流を行いました。

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20130301/p03_01.html

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20130301/p10_02.html

(4) 本学の研究力を世界へ～英語ウェブサイト「Front Line Research at MEIJI」

本学の研究力を世界へ向けて発信する英語ウェブサイト「Front Line Research at MEIJI」は、幅広い分野で活躍する本学教員の「研究最前線」を紹介しており、2012年度も17名の研究者の研究活動を紹介しまし

た。※<http://www.meiji.ac.jp/cip/english/frontline/index.html>

ウ 産官学連携

(ア) 本学発の発芽玄米テンペがホテルのディナーメニューに採用

本学教員が開発し、本学が特許化して技術供与（ライセンス）を行った発芽玄米テンペ（特許第 3859014 号）が横浜国際ホテルのディナーバイキングメニュー（五穀米テンペの生春巻き）に採用されました。テンペとは大豆などをテンペ菌で発酵させたインドネシア発祥の栄養バランスに優れた発酵食品です。

※<http://www.meiji.ac.jp/osri/topics/2012/6t5h7p00000dilu5.html>

(イ) 研究成果活用促進センターの移転～より充実した施設へ

研究成果活用促進センターは、研究活用知財本部の下に設置され、本学の研究成果に基づく産官学連携の支援、研究成果を活用した起業支援等を行っています。研究成果の活用を促進するためのスペースとして、これまでは駿河台キャンパスのアカデミーコモン内の5室の施設において創業・ベンチャー育成支援を行ってききましたが、2013年4月からは**グローバルフロントの施設に移転し**、部屋数も7室になり、利用期間等も変更されます。これまでも10社余りの会社設立の実績があり、2012年度も複数の企業が精力的に活動を行いました。

※http://www.meiji.ac.jp/tlo/about_incubation_center.html

エ 数理科学の国際拠点～先端数理科学インスティテュート（MIMS）

MIMSは、機構附属研究機関（特別推進研究インスティテュート）として、社会との関わりを重視した数理科学の発展・普及を図ることを目的として**社会と自然に係る現象の数理科学的解析**を課題とする**国際的研究拠点**です。MIMSにおいて研究活動を推進していた文部科学省グローバルCOEプログラム「現象数学の形成と発展」は、2012年度をもって5年間の採択期間を終えました。2013年3月には生田キャンパスから**中野キャンパスに移転し**、更なる研究活動を推進していきます。

※<http://www.mims.meiji.ac.jp/index.html>

オ クロンプタで医療に貢献～バイオリソース研究国際インスティテュート（MUIIBR）

MUIIBRは、機構附属研究機関（特別推進研究インスティテュート）として、農学、特にAnimal Biotechnologyを基盤として、次世代の医療技術開発に貢献する**生物資源の創出・維持・活用**を行うことを目的とした**国際的研究拠点**です。上述したブタ体内での臍臓再生の成功など各種メディアでも研究成果が掲載・紹介されています。

※<http://muiibr.com/index.html>

カ 世界が持続可能な成長をしていくために～国際総合研究所（MIGA）

MIGAは、機構附属研究機関（特別推進研究インスティテュート）として、国際的な諸問題を研究課題として、その解決策を探求及び立案することにより、国際社会に対して政策を提言していく**国際的研究拠点**です。

2013年2月25日には、駿河台キャンパスのリバティホールにおいて、第一部「新体制下の東アジアと安全保障秩序」及び第二部「アジアの平和的

発展と日本の役割」の二部構成でシンポジウムを開催し、世界をリードする国内外の研究者や有識者が基調講演とディスカッションを行いました。

※<http://www.meiji.ac.jp/miga/index.html>

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20130301/p02_01.html

キ 新たな世界的研究拠点の創出を目指して～研究クラスター

研究クラスターは、機構付属研究機関（特別推進研究インスティテュート）等を目指し、今後の発展が期待されるものとして選定された重点領域プロジェクトを推進する期限付きの研究組織であり、2012年度において次の研究クラスターが研究活動を推進しました。

(7) 知的財産法の研究拠点形成を目指す～知的財産法政策研究所

知的財産法政策研究所は、本学の知財研究者を中心とする様々な専門性・経験を有する研究者が学外・外国の研究者・実務家・産業界・法曹界・政府・国際機関等とも協力して研究活動を展開しています。2012年度も文部科学省により採択された私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（2011～2015年度）等様々な研究活動・事業活動を推進しました。

※<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~ip/index.html>

(4) 日本列島の文明化を究明する日本古代学の国際的構築～日本古代学研究所

日本古代の歴史学・考古学・文学の3分野を総合化し、国際的視野を有する「日本古代学」として脱構築しようという学術的な目的で設置されている**日本古代学研究所**は、2012年度も文部科学省により採択された私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（2009～2013年度）等様々な研究活動・事業活動を展開しました。

※<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~meikodai/index.html>

(4) 大きな原理の探求そして現代社会の抱える問題への提言～野生の科学研究所

野生の科学研究所は、人文科学と自然科学の分離を乗り越えて、科学というものをより豊かで、具体的で、強靱なものにつくりかえていくという目的で設置されました。2012年度も公開研究会等様々な研究活動・事業活動を展開しました。

※<http://sauvage.jp/>

ク 黒曜石研究の国際ネットワークの拠点を目指して～黒曜石研究センター

日本で唯一の黒曜石と人類史に関する研究施設**黒曜石研究センター**（長野県小県郡長和町）は、機構の付属研究施設として「ヒト-資源環境系」という概念の下に、各種研究プロジェクトを立ち上げ、黒曜石を含む多様な資源に対する人類の働きかけのダイナミズムに関する研究を推進しています。また、同センターが黒曜石研究の国際ネットワークの拠点となるよう、ロシア、中国、韓国、アメリカ等の関連機関との連携も進めており、2012年度も国際シンポジウムの開催等様々な研究活動・事業活動を展開しました。

※<http://www.meiji.ac.jp/cols/index.html>

ケ 食料の安定的供給と農業の産業化の実現を目指して～植物工場基盤技術研究センター

経済産業省平成21年度先進的植物工場施設整備費補助事業の補助金を受けて建てられた**植物工場基盤技術研究センター**は、植物工場に関する研究開発・人材育成の**全国8拠点の一つ**となっています。(私立大学では本学のみ。)

2012年度も同センターでは、各種シンポジウム、講演会、講座等の開催・開講を行うとともに、東京ビックサイトにおいて7月25日から3日間行われた「施設園芸・植物工場展2012」にもブースを設置し、最新の研究成果の紹介を行いました。※<http://www.meiji.ac.jp/plant/index.html>

コ 神奈川県における新技術・新事業の創出に向けて～地域産学連携研究センター

地域産学連携研究センターは、機構の附属研究施設として、経済産業省の「地域企業立地促進等共用施設整備費補助金」の交付を受けて建設され、2012年4月から運用を開始しました。本学の知的資源を有効活用して、神奈川県における新技術・新事業の創出のほか、共同研究の実施、市民講座の開催等当該地域の**中小企業者、市民等との連携・交流の促進**を図っています。2012年度は、オープン記念講座の開催、**神奈川県産業技術センターとの間で中小企業支援を目的とした連携協定締結**のほか、施設貸出後1年を迎えるに当たり、センター施設の利活用を促進していくため、利用料金、利用時間帯等の見直しを行いました。

※<http://www.meiji.ac.jp/cii/index.html>

(4) 明治大学の歴史を語る～大学史資料センター

大学史資料センターは、本学の歴史(校史)に関する調査、研究並びに校史に係る資料の収集、保存及び公開を行っているほか、作詞家・作家の阿久悠氏(1959年文学部卒)の「人となり」及び作品を紹介する**阿久悠記念館**の運営も行っています。2012年度も本学の卒業生等著名な人物等の紹介を通して、「権利自由」・「独立自治」に代表される本学の建学理念を広く発信してきました。

※<http://www.meiji.ac.jp/press/index.html>

6 認証評価制度への対応・内部質保証システムの推進

(1) 認証評価・内部質保証システム

内部質保証システムは、恒常的に自己点検・評価を行い、これを踏まえて年度計画等を策定し、自ら大学運営の改善を促していくものです。

本学は、学校教育法に定める機関別認証評価について、2008年3月に「大学基準に適合している」と認定されており、2014年度には公益財団法人大学基準協会(以下「基準協会」という。)による2回目の認証評価を受審することを決定しました。専門職大学院認証評価については、法科大学院及び専門職大学院グローバル・ビジネス研究科が、それぞれ**2013年度専門職大学院認証評価**を2013年1月に基準協会に申請し、同年3月には評価資料を提出しました。また、基準協会から2012年3月に受理した2007年度大学評価結果に対する「改善報告書検討結果」における提言事項と自己評価結果を踏まえた「**第2期改善アクションプラン(3カ年計画)**」の実施を決定しました。2013年2月には自己点検・評価及び認証評価に関することのほか、内部質保証システムの構築等を所管する**教学企画部評価情報事務室**を設置しました。(2013年4月1日施行)

(2) 自己点検・評価

2011年度自己点検・評価報告書については、自己点検・評価全学委員会委員長である学長が2012年12月14日に「2011年度自己点検・評価報告書」を評価委員会委員長の理事長に提出しました。

同報告書の提出を受けて、2013年1月23日に学外有識者等も加わる評価委員会を開催し、自己点検・評価が適切に行われているか点検するとともに、報告書に記載された改善計画を基に、今後本学が重点的に改善すべき点等を議論し、本学の国際化に向けた多くの提言を行いました。その結果は、「評価委員会による評価結果」として、報告書と同時にホームページに公開しています。

※<http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/index.html>

7 国際化の推進

本学は、**文部科学省のグローバル30**（大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業）に採択された全国13大学の一つとして、国際化の取組みを積極的に推進しており、2012年度も次の事業等を推進しました。

※http://www.uni.international.mext.go.jp/ja-JP/university_list/meiji/

(1) 国際連携機構の充実

学長を機構長とする**国際連携機構**（以下「機構」という。）は、本学における国際化政策を一元的に推進していく機関であり、国際的な教育交流及び学術・研究交流を推進し、本学の教育・研究分野の高度化を図るとともに、教育・研究を通じ広く国際貢献を果たすことを目的として設置されています。

2012年4月から、機構の企画・立案に係る効率を高めるとともに、当該事業の執行に係る迅速化を図るため、機構の下に置く各機関（**国際連携本部**、**国際教育センター及び日本語教育センター**）の事業、組織及び運営体制を改編しました。また、同年12月に、機構において、学部・大学院との一層の連携を図るとともに、国際教育センター及び日本語教育センターの事業を含めて本学の国際連携に係る事業を一元的に審議できる体制とするため、従来の国際連携本部会議に代えて**国際連携運営会議**を新たに組織しました。

※<http://www.meiji.ac.jp/cip/international/kousairenkekikou.html>

(2) グローバル化社会を生き抜く未来開拓力のある学生の育成に向けて～文部科学省による大学教育改革の支援プログラムの採択

文部科学省が公募する「国公立私立大学を通じた大学教育改革の支援」のプログラムに本学から3件の取組みが採択されました。

※<http://www.meiji.ac.jp/koho/mext/index.html>

ア 大学間連携共同教育推進事業（明治大学・立教大学・国際大学による共同申請）（応募件数153件、採択件数49件、採択率32.0%）

プログラム名称：国際機関等との連携による「国際協力人材」育成プログラム

※http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/renkei/1325191.htm

イ 大学の世界展開力強化事業～ASEAN諸国等との大学間交流形成支援～（応募件数71件、採択件数14件、採択率19.7%）

プログラム名称：日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダー育成プログラム

※http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/09/1326071.htm

ウ グローバル人材育成推進事業（タイプB：特色型）（応募件数111件、採

択件数 31 件, 採択率 27.9%)

プログラム名称:『「強い個」をベースとした” Empowered Public” 創成人材』の育成と輩出

※http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/09/1326068.htm

(3) **協定校・協定機関の拡充**

海外の大学等との協力協定については、2012年度も積極的に新たな協定を締結し、2012年度までの協定校・協定機関数は、学部間等協定も含め、**211大学・機関・部局等**となりました。

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/cip/univlist/index.html>

(4) **明治大学を世界へ～海外拠点の拡充**

本学では、現在、海外拠点としてマレーシア・サテライト・オフィス及び北京サテライト・オフィスが設置されており、2012年度も留学促進、研究教育交流促進等を目的とした業務を展開しました。2013年度にはタイ・バンコクに**明治大学アセアンセンター(Meiji University ASEAN Center)**を開設予定であり、2013年1月20日にはタイのバンコクにおいて国際教育センターにより、明治大学グローバル人材育成シンポジウム「グローバル人材育成に向けて-企業と大学の協働-」をアセアンセンター開設のプレイベントとして実施しました。

※<http://www.meiji.ac.jp/cip/outline/index.html>

※<http://www.meiji.ac.jp/cip/info/2012/6t5h7p00000ecea.html>

(5) **立教大学・国際大学との3大学による「国際協力人材の育成に関する協定」の締結**

3大学が連携して地球規模の課題の解決に向けた教育プログラムを開発し、国際社会の平和と安定に貢献する人材を育成するため、6月18日に協定締結を行い、2012年9月11日～19日の9日間には、国際大学(南魚沼市)において「夏季集中国際協力英語プログラム」を実施しました。各大学とも「**国連アカデミック・インパクト**」に参加しており、国際問題の解決に向けた行動を宣言しています。

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20120701/p03_02.html

※http://www.meiji.ac.jp/koho/desukara/university/2010/academic_impact.html

(6) **私費外国人留学生の授業料補助制度の変更**

私費外国人留学生の学習意欲を高めるとともに、優秀な受験生へのインセンティブとなるよう、成績に応じて補助率が変化する新しい制度を導入しました。(2013年度から実施)

※<http://www.meiji.ac.jp/cip/support/scholarship.html>

(7) **外国人留学生等交流イベント**

ア 「日本文化体験」の実施

本学学生の海外留学推進、外国人留学生の受入推進・支援等を行っている**国際教育センター**では、外国人留学生を対象とした日本文化体験を実施しており、2012年度も「座禅会」、「茶道体験」、「明治高等学校・中学校との交流」等を実施するとともに、見学旅行、懇親会等留学生のための様々なイベントを実施しました。

※<http://www.meiji.ac.jp/cip/info/event2012.html>

イ 留学生と日本人学生との交流の輪を広げる～Meeting with Ambassador

元駐マレーシア大使の堀江正彦研究・知財戦略機構特任教授を中心として留学生と日本人学生の交流の輪を広げることを目的として5月9日及び7月2日の2回にわたって駿河台・和泉・生田キャンパスにおいて開催されました。同教授による問題提議，ゲストスピーカーによるスピーチ，参加学生による活発な議論等が行われ，グローバルな視点・テーマで留学生と日本人学生の交流を深めました。

※ http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20120601/p11_03.html

※ http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20120801/p08_03.html

ウ 夏期短期社会科学プログラム「日本の法・政治・経済」の実施

本プログラムは，外国人学生を対象として日本の法・政治・経済を入門的に日本語でわかりやすく学んでもらうために設定した集中プログラム(7月9日～20日)で，昨年度に引き続き開催しました。フランス，アメリカ，中国，台湾，オーストラリア及びフィンランドの6カ国から受講生が来日しました。

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20120801/p07_01.html

エ Cool Japan Summer Program の実施

本プログラムは，マンガ，アニメ，ゲーム，ファッションといったポップカルチャー等の「現代文化」と日本の歴史的遺産としての「伝統文化」を学ぶとともに，講義，フィールドトリップ等により，これらの文化のコンテンツとしての価値を分析するものです。2012年度は，7月9日～20日に実施され，3回目となる今回は，それらの文化を活用し，どのように世界へ展開していくかという「文化マネジメント」の視点を新たなコンセプトとして導入しました。

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20120901/p08_02.html

オ 日本語短期研修プログラム(夏期・冬期)の実施

本プログラムは，日本語による授業，見学・体験及び小旅行から構成し，日本人の本学学生がサポーターとして運営を全面バックアップして，通訳や生活アドバイスを通し，「生きた日本語」を使いながら交流する環境を提供しました。※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20120901/p08_03.html

カ Meiji University Law in Japan Program(法学部)の実施

本プログラムは，日本の法と法システムの基礎について，英語により授業を行う夏期短期集中講座で，2012年度は，7月23日～8月3日に実施されました。4回目となる今回は，ドイツ，イギリス，ブラジル，メキシコ，中国，シンガポール及び台湾の7つの国と地域から学生・社会人等が参加しました。

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20120901/p09_01.html

キ 第17回「学長杯留学生日本語スピーチコンテスト」を開催

2012年度も11月17日に駿河台キャンパスのリバティタワーにおいて本学の学生コーディネーター(53名)が実行委員会を組織し，運営に関わる準備から当日の運営までを行い，韓国，中国，ベトナム，マレーシア，コンゴ民主共和国，ドイツ及びルーマニアから計20名の留学生が参加して開催しました。※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20121201/p07_01.html

(8) 国際社会で活躍する人材育成への貢献～国際教育研究所

2011年9月に設置された国際教育研究所は，国内外の研究者の協力により，

国際教育交流に関わる研究を遂行し、グローバル人材を育成する教育の発展に寄与することを目的としています。2011年度に引き続き、2012年度も5月18日に開設記念国際シンポジウムシリーズ「国際教育プログラムと学習成果分析『グローバル人材を測る物差しを考える』-Eポートフォリオの有効活用の可能性-」を開催しました。

※<http://www.meiji.ac.jp/cip/riie/2012/6t5h7p00000ag50r.html>

(9) 地域研究

現在、英国研究、カナダ研究及びフランス研究の各グループが研究活動を行っており、2012年度も各種講演会の開催等研究活動を展開しました。

8 社会連携

(1) 社会貢献を進めるために～社会連携機構

本学における教育研究活動を通じた地域連携活動の支援、生涯学習機会の提供等を推進することによって、地域社会の活性化及び社会の発展に寄与することを目的として設置されている機関が**社会連携機構**(以下「機構」という。)です。

機構は、生涯教育の充実を図る**リバティアカデミー**及び地域連携を推進する**地域連携推進センター**から構成されています。

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/social/index.html>

ア 生涯学習の拠点～リバティアカデミーの展開

リバティアカデミーは、公開講座を中心とした生涯教育及び資格取得等職業能力の再開発・向上を図るための教育活動の役割を担っています。2012年度もリバティアカデミーは、「本学の教育・研究成果」を継続的・体系的な公開教育プログラムとして産業社会や地域社会に提供し、大学の保有する様々な知的資産とその環境を広く市民に開放することを通して「開かれた大学」としての姿を追求してきました。2013年度からは中野キャンパスにおいても展開します。1999年の設立当初は36講座及び受講者数2,081名でスタートしましたが、2012年には、**開講講座数344講座・受講者数18,399名**になっています。また、本学駿河台キャンパスの紫紺館1階に事務局のある**太平洋諸島センター(Pacific Islands Centre, PIC)**と連携して、オープン講座を開催しており、2012年度も7月14日に駿河台キャンパスにおいて「太平洋の神話世界-レクチャーと音楽-」に関わる講座を実施しました。

※詳細は <https://academy.meiji.jp/>

イ 地域連携推進センターの展開

地域連携推進センターは、本学が国・地方公共団体、産業界、地域住民等からの幅広い要請に応え、地域社会と連携して地域人材の育成や地域課題の解決を図ることにより、本学における教育研究の発展と地域社会への貢献に寄与することを目的としています。既述した震災復興協定以外で2012年度に締結した主な地域等との協定は次のとおりです。

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/social/japan/chiikirenkei.html>

(7) 千葉県浦安市との間に「**浦安市と明治大学との包括的連携に関する協定**」を締結しました。(5月28日)

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20120601/p04_02.html

(4) 「**麻生区・6大学公学協働ネットワーク協定書**」を締結しました。(10

月29日)

公学協働ネットワークは、川崎市麻生区と麻生区内及び隣接する町田市内に立地する6大学(昭和音楽大学、玉川大学、田園調布学園大学、和光大学、日本映画大学及び明治大学)との間で、互いの知的・人的資源を有効活用できるネットワークを構築することにより、各大学の特色を生かした公学連携活動を展開することで、個性豊かで活力に満ちた地域社会づくりに貢献することを目的としています。

※<http://www.meiji.ac.jp/social/liberty/information/2012/6t5h7p00000dpx98.html>

ウ 学生参加の社会連携活動

(7) 創業者出身地への学生派遣プログラムの実施

2012年度は、創業者出身地3地域(鳥取県・山形県天童市・福井県鯖江市)それぞれについて、学生と地域の人々の交流・連携を通じた地域活性化への提言を行う学生派遣プログラムを実施しました。

※<http://www.meiji.ac.jp/social/6t5h7p00000cdn15.html>

(イ) 秋の恒例行事～第6回お茶の水JAZZ祭の開催

千代田区と連携し、音楽を通じた千代田区の町おこし事業の一つとして、本学校友の宇崎竜童氏及び阿木耀子氏夫妻等を中心に、本学学生等で組織される「町づくり道場」メンバーも運営に携わり、「お茶の水JAZZ祭」を開催しました。(10月7日)

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20121101/p12_01.html

※http://www.jazzsai.com/event_info/modules/pico/index.php?content_id=1

(2) 教育・研究の中核機関～図書館

ア 図書館は、大学の教育・研究支援の中核機関であるとともに、生涯学習時代における社会貢献の拠点として活動を行っています。2012年5月には**和泉図書館**(17頁参照)が開館するとともに、利用者サービスの拡大を図るため、同図書館において日曜日・祝日も開館することにしました。また、2013年4月には**中野図書館**が開館し、更なる社会連携活動を展開します。

※<http://www.lib.meiji.ac.jp/index.html>

イ マンガ図書館は、マンガ、アニメ等の資料を収集し、これを公開することを目的として設置し、**米沢嘉博記念図書館**(東京都千代田区猿楽町)及び**現代マンガ図書館**(東京都新宿区早稲田鶴巻町)をもって構成されています。2012年度は、鳥取県と連携し、鳥取市の鳥取県立図書館(8月24日～9月23日)及び境港市・鳥取県立夢みなとタワー(10月13日～11月11日)において本学共催の「アニメが描く希望と未来展」を開催するなど社会連携活動を展開しました。国際マンガ図書館(仮称)設置については設置場所を含めて検討していきます。

※http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/index.html

(3) 観て学ぼう～博物館

博物館は、本学の教育・研究成果を社会に還元する学内共同利用機関として、学内外の諸機関等と連携した展覧会、公開講座等多彩な教育・普及活動を展開しており、アカデミーコモンに新しい博物館が開館してから2012年5月には来館者累計が50万人に達しました。

2012年度は、特別展「氷河時代のヒト・環境・文化 THE ICE AGE WORLD」(10月12日～12月12日)のほか、展覧会「URUSHI!-漆 Part 1 多彩な漆利用栽培から漆芸まで」,「夏休み いろはカルタまつり-時田昌瑞ことわざコレクションから-」,「冒険家・植村直己の足跡」等を開催しました。

※<http://www.meiji.ac.jp/museum/index.html>

(4) 心の健康をケアします～心理臨床センター

心理臨床センターは、臨床心理学的諸問題に関わる相談・援助活動及び調査・研究を行うことにより、社会貢献を図るとともに、実習機関として臨床心理士の養成を行い、本学の教育・研究に資することを目的として設置されています。

一般の方の心の健康に関する悩みや相談を広く受ける機関として、また、学校教員の生徒への対応のほか、保育、家庭教育等についてのコンサルテーションも引き受けています。その他、2012年度も即興劇的手法を用いた集団心理療法である**サイコドラマスクール(MPS)**等を開講しました。

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/ccp/index.html>

(5) 環境保全への取組みと環境教育

大学は、教育研究機関の社会的使命として、環境問題に対して常に高い関心を持ち、知的、道徳的及び実践的能力を備えた問題解決能力のある人材を育成・輩出することにより、環境改善の啓発活動を積極的に展開し、かつ自らも環境保全活動を実践し、社会において指導的な役割を果たしていかなければなりません。

本学においても駿河台キャンパスA地区(リバティタワー・研究棟・図書館)において**ISO14001**を2003年に認証取得してから9年が経過し、2012年度には3回目の更新を行いました。節電、省エネ等の環境改善活動も定着しており、2012年度においても3キャンパスにおいて**環境展(ECO ACT MEIJI)**を開催したほか、**学内エコツアー**(リバティタワー内の環境配慮施設見学会)等も実施しました。

また、学生の意識も高まっており、6月2日・3日の両日において、**NHK環境キャンペーン「ECOパーク2012」**が東京都渋谷区のNHK放送センターで開催され、本学からも生田ボランティアセンター「こなら楽舎」と環境ボランティアサークル「くればす」の学生が参加してブース出展等を行いました。

※<http://www.meiji.ac.jp/koho/academeprofile/activity/environmental/index.html>

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20120701/p20_02.html

9 入学試験関連

(1) イベント関係

ア 過去最高を更新・約5万5,000名が本学を体感～オープンキャンパスの開催

駿河台・和泉・生田キャンパスにおいて「**明治大学オープンキャンパス2012**」が全7回開催され、過去最高の**5万4,698名**(前年比3,751名増)の受験生等の皆さんが各種プログラムを通じて本学における学びや学生生活を模擬体験しました。

イ 出張オープンキャンパス～明治大学フェスタ!の開催

2012年度も全国6都市(札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡)において、出張オープンキャンパス「**明治大学フェスタ!**」を開催し、入試説明会

のほか、地元出身の現役明大生による相談等を行い、本学の魅力を伝えました。

(2) 2013年度入学試験志願状況

一般入学試験の志願者数は、一般選抜入学試験が**59,336名**、全学部統一入学試験が**18,410名**及び大学入試センター試験利用入学試験が**32,188名**の合計**109,934名**となり、**4年連続で一般入試志願者数全国1位**になるとともに、7年連続で10万人を超えました。

10 卒業・修了の状況

本学は、130年を超える歴史と伝統の中で、創立以来50万人を超える卒業生を輩出してきました。

2012年度は、各学部の卒業生6,989名、大学院の修了生は博士前期課程770名、博士後期課程41名、専門職学位課程357名、付属高等学校・中学校の卒業生434名（高等学校264名、中学校170名）となっています。

11 学生支援

(1) 奨学金の充実

経済的な理由により修学が困難となった本学学生に経済的な支援を図ることにより、継続して学業に専念できる環境を提供することを目的として、**経済支援奨学基金**を設定するとともに、学生への支援拡充を目的として、給費奨学金の新たな種別の設定等を行うため、関係校規の制定・改正を行いました。

(2) 新たな厚生施設の設置(菅平セミナーハウス)

2012年4月から、本学が設置する厚生施設として**菅平セミナーハウス(長野県上田市)**の利用が開始されました。グラウンドもあり、グレンデも近く、スポーツ合宿にも最適な**本学最大規模のセミナーハウス**となっています。

※http://www.meiji.ac.jp/campus/seminar_house/sugadaira/index.html

(3) M-Naviプログラム(Meiji Navigation Program)の推進

学生サービスのより一層の充実と自立した社会人育成のために実施している**M-Naviプログラム**は、参加・体験型のプログラムとして文部科学省の学生支援GPにも採択されていました。

2012年度は、「新入生M-Navi合宿」、「神輿を担ごう-太田姫稲荷神社御祭礼」、「神宮へ行こう(東京六大学野球観戦)」、「観劇プログラム」、「M-Navi社会見学-卒業生を訪ねて-(新聞社)」、「作って学ぶ食文化&ビギナーズクッキングプログラム」、「農業体験」等のプログラムを実施しました。

※<http://www.meiji.ac.jp/campus/mnp/index.html>

(4) 社会に有用な人材になるために～ボランティアセンター(VC)

駿河台・和泉・生田キャンパスに設置されている**ボランティアセンター**は、本学の学生に対するボランティア活動の支援を全学的に推進することにより、学生の社会性及び自主性を涵養して、社会に有用な人材を育成することを目的としています。2012年度は、関係規程を改正し、ボランティア学生に対する支援拡充等を図るため、ボランティアセンター運営委員等(専任教職員)を増員しました。※<http://www.meiji.ac.jp/campus/volunteer/index.html>

駿河台VC:「**エコキャップ週間**」(駿河台キャンパスのリバティタワー1階)を実施し、計2万421個のキャップ(ワクチン26名分)を回収しました。(11月5～9日)

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20121201/p12_02.html
和泉VC：「第31回福祉会館まつり」（杉並障害者福祉会館，東京都杉並区）
に初参加し，会場内で「ゲームコーナー」を運営しました。

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20121101/p13_01.html
生田VC：「リサイクル工作教室」（川崎市多摩区菅こども文化センター）を実施（12月22日）したほか，同月25日に福島県飯館村の仮設住宅で布ワラジ作りを行いました。

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20130201/p07_03.html

(5) 学生相談室の活動

学生相談室への相談内容は，全体の約7割が心理相談であり，社会情勢の変化を反映して相談内容も多様化・複雑化していることから，学生相談機能の拡充を図っています。2013年4月には中野キャンパスにも設置されます。

2012年度も各種イベントを実施しました。

- ア ティーアワー・ランチアワー～友だちを増やそう！
- イ Yoga 体験！ストレス時代を生きる明大生のためのYoga
- ウ 五月病に負けない学生生活その他

※<http://www.meiji.ac.jp/soudan/index.html>

(6) 観る人に感動を～スポーツ関係

ア 第30回オリンピック競技会・第14回パラリンピック競技会（ロンドン） における本学関係者の主な競技結果

柔道（男子66kg級）：海老沼 匡（商学部卒業）3位（銅メダル）

競泳（男子200m背泳ぎ）：渡邊 一樹（商学部卒業）6位入賞

卓球（男子団体）：水谷 隼（政治経済学部在学中）5位入賞

女子サッカー：佐々木則夫監督（文学部卒業）2位（銀メダル）

パラリンピック競泳（女子100m背泳ぎ）：

秋山 里奈（法学研究科博士前期課程在学中）1位（金メダル）

※<http://www.meiji.ac.jp/koho/news/2012/6t5h7p00000ddxas.html>

※<http://www.meiji.ac.jp/koho/news/2012/6t5h7p00000dizsk.html>

イ スポーツ表彰

2012年度に本学の名声を高めた功績を称えて，個人86名及び12団体を表彰しました。

※体育会一覧，試合結果等は <http://www.meiji.ac.jp/campus/circle/index.html>

(7) 就職・キャリア形成をバックアップ～就職キャリア支援センター

就職キャリア支援センターは，本学の学生に対する就職支援及びキャリア形成支援を推進することにより，学生の職業観及び職業に関する知識・技能を涵養して主体的に進路を選択できる能力の育成を図り，社会に有用な人材を輩出することを目的としています。2012年度も就職・進路ガイダンス，工場・事業所見学会，着こなし&メイクアップセミナー，就職活動体験報告会，各種業界研究会等を開催しました。

※<http://www.meiji.ac.jp/shushoku/index.html>

- ア 「ALL Meiji キャリアウィーク」の開催（5月14日～18日）
和泉の杜（学食）において各業界で活躍する若手OB・OGと明大生との

座談会を開催しました。

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20120601/p07_02.html

イ 「企業と大学との就職懇談会」の開催（10月24日）

駿河台キャンパスのアカデミーコモンにおいて本学理事長及び学長のほか、役員、大学役職者並びに就職担当教員と本学に採用実績のある約360社の企業の採用担当者との間で活発な情報交換を行いました。

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20121201/p03_01.html

さらに、就職キャリア支援センターは、**外国人留学生の就職支援強化**も積極的に推進しており、外国人留学生を対象とした就職・進路ガイダンス、筆記試験等各種講座、日系企業中国現地法人合同説明会、内定者との交流会、企業見学会等を開催しました。

12 顕彰（特別功労賞）

第14回パラリンピック競技会（ロンドン）女子100メートル背泳ぎで金メダルを獲得した**秋山里奈さん**（大学院法学研究科）に対して、**明治大学特別功労賞**が贈呈されました。特別功労賞は、「学生、教職員、校友その他本学が特に認めた者であって、学術、文化、スポーツその他の分野において顕著な功績を挙げ、本学の教育・研究の振興・発展に貢献したと認められる個人又は団体」に贈られるもので、秋山さんは30人目の受賞となります。

13 付属高等学校・中学校

(1) 創立100周年記念事業

ア 「英語スピーチ・コンテスト」の開催（6月12日・2013年2月5日）

調布キャンパス鶴澤総明ホールにおいて「英語スピーチ・コンテスト」を開催しました。

このコンテストは、2012年3月をもって明治高等学校・中学校が100周年を迎え、「世界へー世界に飛び出し『己』を知ろうー」をキーコンセプトにグローバル社会におけるリーダー育成を目的とした「鶴澤聡明教育振興・奨学金プログラム」が創設されたことを記念したものです。

※http://www.meiji.ac.jp/koho/meidaikouhou/20120701/p17_01.html

イ 「第1回卒業生顕彰式」の開催（9月29日）

駿河台キャンパスの紫紺館において、創立100周年を契機として、明治高等学校を卒業した以降も学業に精励し、司法試験合格等優秀な成果を収めた卒業生の功績を称え、在校生の模範として顕彰するもので、卒業生25名を表彰しました。

ウ 創立100周年記念式典・祝賀会を挙行（11月17日）

駿河台キャンパスのアカデミーコモンにおいて、創立100周年を記念する式典及び祝賀会を挙行しました。式典には、校長、同学校関係者及び在校生、本学理事長及び学長のほか、役員、大学役職者そして400名を超す来賓等約1,500名が出席して盛大に執り行われました。

エ 東日本大震災被災地（宮城県女川町）支援活動の実施（2013年1月12～15日）

創立100周年記念事業の一環として、明治高等学校の生徒が被災地の現状を実見し、炊き出し等の支援活動を行いました。1月13日・14日には、明

治高等学校の全面協力により、石巻地区サッカースポーツ少年団指導者協議会に所属する14チームによる少年サッカー大会を開催しました。

(2) 高大連携の推進

明治大学各学部の協力を得て、**高大連携講座**（大学教育への準備）、**プレカレッジプログラム**（各学部設置の講義科目を受講）、**資格取得講座**（サマーセミナー）等を実施しました。

(3) 明高中教諭による学部単位科目（授業）の実施

2012年度に政治経済学部において単位科目「**応用総合講座Ⅴ・明高中教員による授業**」を明高中教諭が講師として担当し、双方向の高大連携を実施しました。

(4) 国際連携主任及び特別常勤講師の設置

グローバル化に対応し、国際教育の強化を図ることを目的として国際連携主任及び特別常勤講師を設置するため、関係校規の制定・改正を行いました。

（2013年4月1日施行）

(5) 留学制度の創設

明治高等学校の生徒が在学しながら留学できる制度を創設するため、関係校規を改正しました。（2013年4月1日施行）

(6) 海外研修，文化体験等

夏期語学研修の研修地を2012年度から**カナダ・バンクーバのブリティッシュ・コロンビア大学**に変更するとともに、新しく「**鶴澤聡明教育振興・奨学金プログラム**」の一環として「**オーストラリア・ニュージーランド文化体験プログラム**」を実施しました。

以 上

(1) 海外協定校一覧

	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	中国	中国人民大学	○	
2		延辺大学	○	
3		華東師範大学	○	
4		清華大学		
5		深圳大学	○	
6		厦門大学	○	
7		上海交通大学	○	
8		中央財經大学	○	
9		雲南農業大学		
10		遼寧大学	○	
11		雲南民族大学		
12		内蒙古工業大学	○	
13		大連外国語学院	○	
14		雲南大学	○	
15		北京大学	○	
16		蘇州大学	○	
17		南京大学	○	
18		中国社会科学院		
19		東華大学		
20		上海對外貿易学院		
21		南京財經大学		
22		中央民族大学	○	
23		香港中文大学	○	
24	韓国	梨花女子大学	○	
25		高麗大学	○	
26		国立忠北大学	○	
27		同徳女子大学	○	
28		国立慶北大学		
29		仁荷大学	○	
30		大邱大学	○	
31		淑明女子大学	○	
32		慶尚大学	○	
33		西江大学	○	
34		延世大学	○	学生交流は政治経済学部のみ実施
35		嶺南大学	○	
36		中央大学		
37		大田大学	○	
38		全北大学	○	学生交流は情報コミュニケーション学部のみ実施
39		慶熙大学	○	
40		漢陽大学	○	
41		済州大学	○	
42		崇実大学	○	
43		台湾	国立台湾大学	○
44	中国文化大学		○	
45	虎尾科技大学		○	
46	国立台北大学		○	
47	国立嘉義大学		○	
48	中原大学			
49	国立屏東科技大学			
50	南台科技大学			
51	国立高雄応用科技大学		○	
52	環球科技大学			
53	淡江大学			
54	ベトナム	ハノイ大学		
55		ハノイ貿易大学	○	
56		ハノイ大学	○	
57		ホーチミン市国家大学人文社会科学大学		
58	ハノイ国家大学外国語大学	○		
59	ラオス	ラオス国立大学		
60	マレーシア	マレーシア工科大学	○	
61		マレーシア科学大学	○	
62		マラヤ大学	○	
63		マレーシア・サラワク大学	○	
64		ペトロナス工科大学	○	
65		マレーシア・サバ大学		
66	シンガポール	シンガポール経営大学	○	
67	タイ	キングモンクット工科大学ラカバン校	○	
68		シーナカリンウィロート大学	○	学生交流は政治経済学部のみ実施
69		プリンセスオブソクラー大学		
70	タイ	泰日工業大学		
71	インドネシア	バンドン工科大学	○	
72	フィリピン	フィリピン大学ディリマン校		
73		アテネオ・デ・マニラ大学		

74	インド	インド科学院大学	○
75		インド統計大学	
76	モンゴル	モンゴル国立大学	
77	豪州	西シドニー大学	○
78		サンシャインコースト大学	○
79		ニューサウスウェールズ大学	○
80		南オーストラリア大学	
81		クイーンズランド工科大学	
82		アデレード大学	○
83		マッコーリー大学	○
84	サウジアラビア	アブドゥルアジズ国王大学	
85	トルコ	中東工科大学	○
86		ボアジチ大学(ボスボラス大学)	
87	南アフリカ	フオートヘア大学	○
88		リンボポ大学	○
89	タンザニア	ダルエスサラーム大学	
90	英国	シェフィールド大学	○
91		ケンブリッジ大学ヒューズ・ホール・カレッジ	
92		ヨーク・セント・ジョン大学	
93		ロンドン大学クィーン・メアリー・カレッジ	
94		マンチェスター大学人文科学部	○
95		バーミンガム大学	
96		ブライトン大学	
97		イースト・アングリア大学	○
98		イーストロンドン大学	
99		フリードリヒ・シラー大学(イエーナ大学)	○
100	ドイツ	ツェッペリン大学	
101		ジーゲン大学	○
102		パッサウ大学	
103		ハインリッヒ・ハイネ大学(デュッセルドルフ大学)	○
104	フランス	ランス大学	○
105		パリ第1大学(パンテオン・ソルボンヌ)	○
106		パリ第9大学(ドフィーヌ)	○
107		トゥールーズ第1社会科学大学	○
108		フランス国立東洋言語文化研究学院(INALCO)	○
109		リヨン第3大学	○
110		ヴェルサイユ大学	○
111		パリ第3大学(ソルボンヌ・ヌーベル)	○
112		エクス・マルセイユ大学(旧プロヴァンス大学)	○
113		パリ・ディドロ大学(パリ第7大学)	○
114		モダール・インターナショナル学院	
115	リヨン政治学院	○	
116	オーストリア	ウィーン大学	○
117	スウェーデン	リンシェーピング大学	○
118	スイス	チューリッヒ大学	○
119	イタリア	シエナ大学	○
120		ヴェネツィア大学	○
121		ミラノ大学	○
122		フィレンツェ大学	
123	スペイン	アリカンテ大学	
124		ロビーラ・イ・ビルジリ大学	
125		バレンシア大学	
126	ギリシャ	クレタ大学	
127	ベルギー	ルーヴェン・カトリック大学	
128	ロシア	プレハーノフ経済大学	○
129		クラスノヤルスク教育大学	○
130		国立経営大学	○
131		モスクワ国立大学	○
132		サンクトペテルブルク国立工学・経済大学	
133		サンクトペテルブルク国立サービス・経済大学	
134	ハンガリー	エトヴェシュ・ロラーンド大学	○
135	ポーランド	ウッジ大学	○
136		ポズナン経済大学	
137	リトアニア	ヴィータウタス・マグヌス大学	
138	ルーマニア	ブカレスト大学	○
139	ブルガリア	ソフィア大学	○
140	セルビア	ベオグラード大学	○
141	ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエボ大学	
142		バニャルカ大学	
143		オレゴン大学	○
144	米国	アイオワ大学	○
145		サザンイリノイ大学カーボンデール校	○
146		SUNYニューパルツ校	○
147		アラバマ大学	○
148		ミズーリ州立大学	○
149		カンザス大学	

150	米国	ノースイースタン大学	○	
151		南カリフォルニア大学		
152		メンフィス大学	○	
153		テンブル大学	○	
154		カリフォルニア大学デービス校		
155		南ユタ大学	○	
156		ワトガース大学		
157		ニューヨーク州立大学バッファロー校	○	
158		ヨーク大学	○	
159	カナダ	アルバータ大学	○	
160		ヴィクトリア大学	○	学生交流は経営学部のみ実施
161		モントリオール大学	○	
162		マクマスター大学		
163		ユーコン・カレッジ		
164	ラヴァール大学			
165	メキシコ	メキシコ国立自治大学	○	
166		グアナフアト大学	○	
167	ブラジル	FAAP - アルマンド・アルバレス・ペンチアード大学		
168		サンパウロ大学		
169	アルゼンチン	ラプラタ国立大学		
合 計				169大学

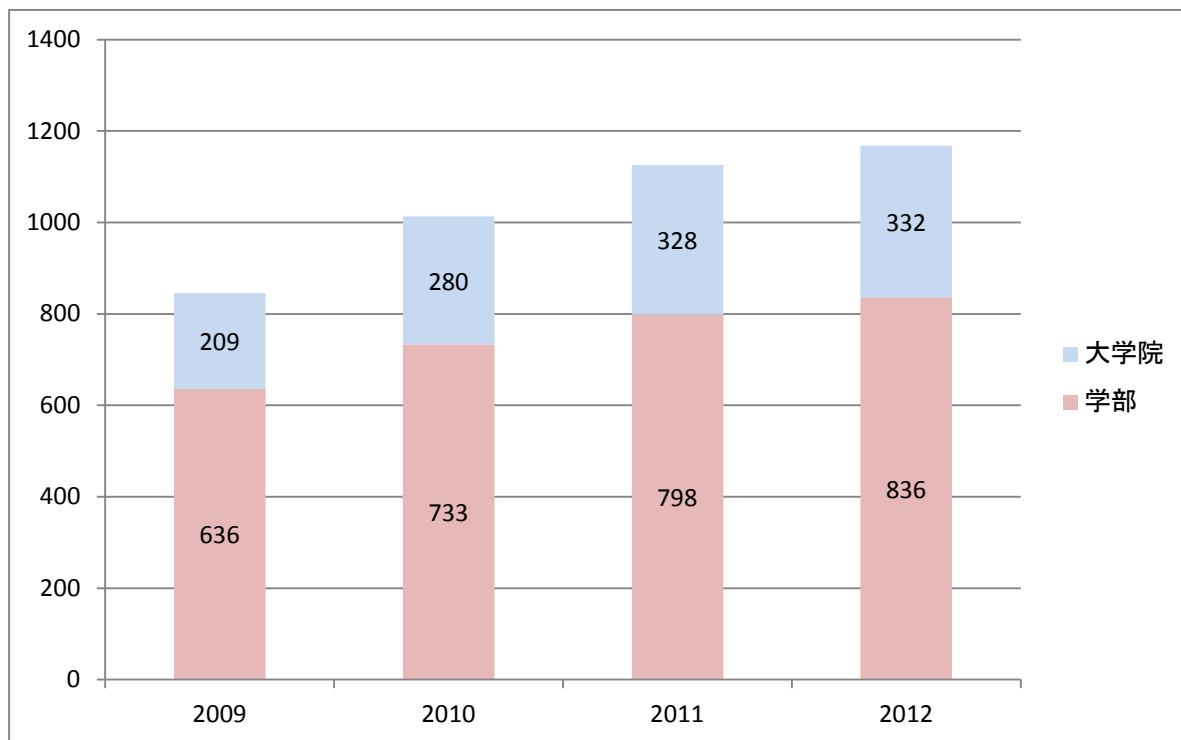
学部間等協定校				
	国名	協定大学名	学生交流	協定学部等
1	フランス	レンヌ商科大学	○	商学部
2	ドイツ	ブレーメン州立経済工科大学	○	商学部
3	イギリス	カーディフ大学カーディフ・ビジネス・スクール	○	商学部
4	フランス	パリ商業高等大学マネジメント学部	○	商学部
5	米国	カリフォルニア大学バークレー校	○	政治経済学部
6	中国	北京師範大学歴史学院	○	文学部
7	ドイツ	ビーレフェルト大学言語学・文学部	○	文学部
8	ドイツ	バンベルク大学人文学部	○	文学部
9	タイ	チュラロンコーン大学理学部/建築学部	○	理工学部
10	フランス	パリ国立建築大学ラヴィレット校	○	理工学部
11	南アフリカ	ケープタウン大学工学・建築環境学部		理工学部
12	台湾	国立台湾科技大学設計学院		理工学部
13	台湾	弘光科技大学工学部	○	理工学部
14	シンガポール	シンガポール国立大学設計・環境学部		理工学部
15	台湾	国立台湾大学農業経済学部		農学部
16	タイ	キングモンクット工科大学トンブリ校生物資源工学部		農学部
17	タイ	カセサート大学 カンペンセン校農学部	○	農学部
18	米国	アイオワ州立大学農学・生命科学部		農学部
19	カナダ	サスカチュワン大学農学・生物資源学部		農学部
20	米国	ハワイ大学マノア校熱帯農業人的資源学部		農学部
21	フランス	ESCEM-トゥール商業大学院大学	○	経営学部
22	韓国	ソウル大学経営学部	○	経営学部
23	フランス	IPAG ビジネススクール	○	経営学部
24	中国	中山大学国際商学院	○	経営学部
25	中国	対外経済貿易大学国際商学院	○	経営学部
26	中国	香港城市大学商学院	○	経営学部
27	スペイン	IE大学	○	経営学部
28	中国	香港城市大学人文社会学部	○	情報コミュニケーション学部
29	米国	インディアナ大学・パーディー大学インディアナポリス校	○	国際日本学部
30	米国	フロリダ州立大学	○	国際日本学部
31	米国	ニューヨーク州立大学スタテンアイランド校	○	国際日本学部
32	イギリス	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	○	国際日本学部
33	韓国	韓国刑事政策研究院		法学研究科
34	米国	デューク大学大学院及びアジア太平洋研究所		政治経済学研究科
35	韓国	又松大学経営大学院	○	経営学研究科
合 計				35大学

その他部局間(研究所間)協定校				
	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	台湾	台湾国立交通大学数学建模科学計算研究所 (IMMSC)		先端数理科学インスティテュート
2	ベトナム	ベトナム・ハノイ数学研究所 (IMVAST)		先端数理科学インスティテュート
3	英国	オックスフォード大学数理生物学センター (CMB)		先端数理科学インスティテュート
4		フランス国立社会科学高等研究院社会数理解析センター (CAMS)		先端数理科学インスティテュート
5	イタリア	イタリアCNR応用数学研究所 (IAC)		先端数理科学インスティテュート
6	スペイン	マドリッド・コンプルテンセ大学学際数学研究所 (IMI)		先端数理科学インスティテュート
7	ロシア	ロシア科学アカデミー極東支部極東地質学研究所		黒耀石研究センター
合 計				7機関

○=学生交流を実施している協定校

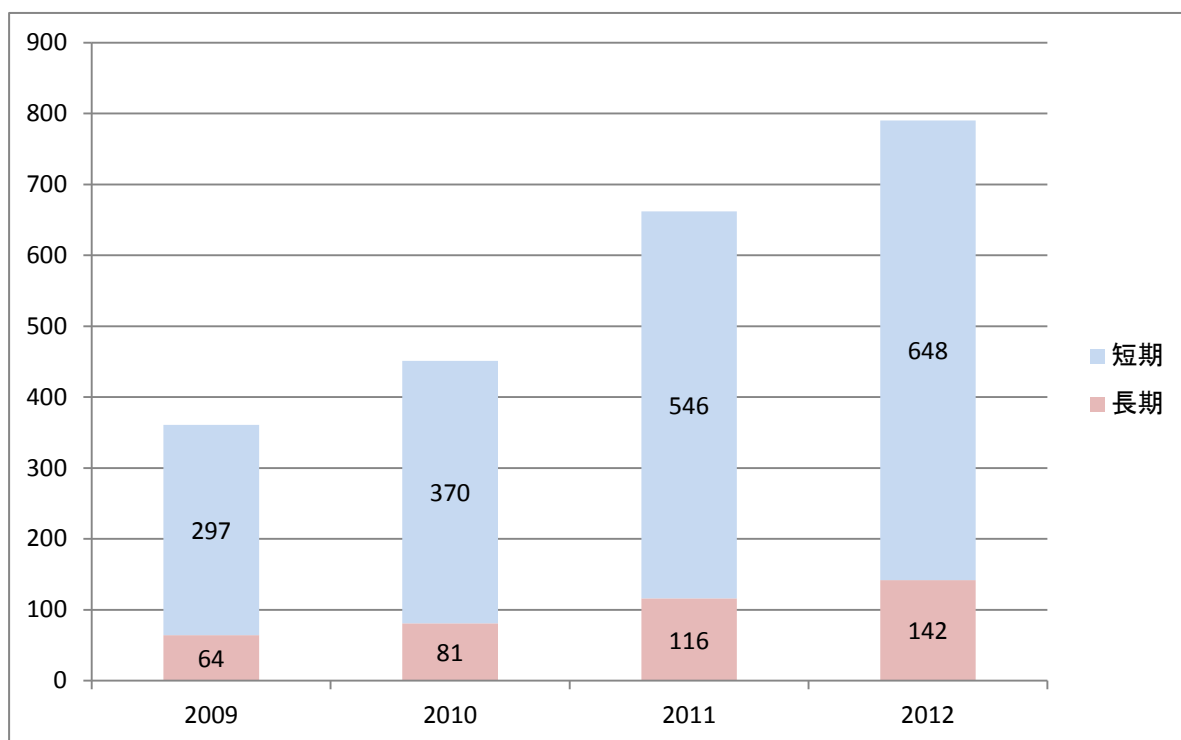
(2) 外国人受入留学生数及び海外派遣留学生数

①外国人受入留学生数



各年度5月1日現在

②海外派遣留学生数



各年度3月31日現在

(3)2013年度一般入学試験結果

①一般選抜入学試験結果

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			満点	合格最低点	合格最低得点率	競争率 受験者/合格者			
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子							
法学部		法律学科	350	4,435	3,173	1,262	3,823	2,736	1,087	1,144	775	369	350	230	65.7	3.3	
商学部		商学科	450	7,241	5,260	1,981	6,339	4,613	1,726	1,053	761	292	350	243	69.4	6.0	
政治経済学部		政治学科	110	2,006	1,449	557	1,850	1,338	512	460	326	134	350	234	66.9	4.0	
		経済学科	300	4,809	3,958	851	4,539	3,731	808	1,064	874	190	350	231	66.0	4.3	
		地域行政学科	70	845	610	235	809	580	229	146	105	41	350	227	64.9	5.5	
		計	480	7,660	6,017	1,643	7,198	5,649	1,549	1,670	1,305	365				4.3	
文学部		文学科	日本文学	64	1,093	473	620	989	428	561	172	77	95	300	230	76.7	5.8
			英米文学	58	772	331	441	698	303	395	183	84	99	300	226	75.3	3.8
			ドイツ文学	17	202	80	122	184	74	110	54	19	35	300	221	73.7	3.4
			フランス文学	19	260	77	183	240	72	168	59	22	37	300	220	73.3	4.1
			演劇学	22	339	108	231	313	101	212	62	16	46	300	224	74.7	5.0
			文芸メディア	33	734	292	442	678	269	409	114	53	61	300	234	78.0	5.9
		史学地理学科	日本史学	43	911	570	341	831	525	306	148	98	50	300	236	78.7	5.6
			アジア史	18	181	114	67	159	98	61	66	41	25	300	224	74.7	2.4
			西洋史学	26	524	293	231	475	263	212	115	74	41	300	232	77.3	4.1
			考古学	21	327	174	153	295	157	138	57	33	24	300	227	75.7	5.2
			地理学	25	262	197	65	242	182	60	65	50	15	300	221	73.7	3.7
		心理社会学科	臨床心理学	22	534	196	338	475	178	297	58	15	43	300	235	78.3	8.2
			現代社会学	22	425	197	228	375	176	199	69	33	36	300	236	78.7	5.4
		計	390	6,564	3,102	3,462	5,954	2,826	3,128	1,222	615	607				4.9	
理工学部		電気電子生命学科	115	1,280	1,186	94	1,228	1,138	90	368	338	30	360	248	68.9	3.3	
		機械工学科	70	1,635	1,558	77	1,576	1,502	74	386	370	16	360	267	74.2	4.1	
		機械情報工学科	66	625	585	40	605	565	40	196	175	21	360	244	67.8	3.1	
		建築学科	80	1,641	1,261	380	1,598	1,224	374	265	198	67	360	270	75.0	6.0	
		応用化学科	55	1,799	1,385	414	1,742	1,339	403	363	291	72	360	267	74.2	4.8	
		情報科学科	60	1,235	1,116	119	1,178	1,065	113	239	218	21	360	262	72.8	4.9	
		数学科	30	528	459	69	508	441	67	147	136	11	360	253	70.3	3.5	
		物理学科	32	855	781	74	822	751	71	240	221	19	360	274	76.1	3.4	
計	508	9,598	8,331	1,267	9,257	8,025	1,232	2,204	1,947	257				4.2			
農学部		農学科	77	1,453	970	483	1,285	859	426	285	183	102	300	209	69.7	4.5	
		農芸化学科	77	1,238	576	662	1,097	519	578	214	98	116	300	214	71.3	5.1	
		生命科学科	82	1,781	1,060	721	1,567	937	630	299	171	128	300	216	72.0	5.2	
		食料環境政策学科	70	948	577	371	852	519	333	185	112	73	300	216	72.0	4.6	
計	306	5,420	3,183	2,237	4,801	2,834	1,967	983	564	419				4.9			
経営学部		経営学科	200	6,190	4,494	1,696	5,935	4,300	1,635	1,205	863	342	350	218	62.3	4.9	
		会計学科	85	862	600	262	837	583	254	211	143	68	350	204	58.3	4.0	
		公共経営学科	45	467	320	147	448	307	141	123	88	35	350	205	58.6	3.6	
		計	330	7,519	5,414	2,105	7,220	5,190	2,030	1,539	1,094	445				4.7	
情報コミュニケーション学部		A方式 情報コミュニケーション学科	310	4,400	2,461	1,939	4,261	2,377	1,884	957	543	414	450	264	58.7	4.5	
		B方式 情報コミュニケーション学科	20	81	55	26	76	52	24	25	16	9	450	308	68.4	3.0	
		計	330	4,481	2,516	1,965	4,337	2,429	1,908	982	559	423				4.4	
国際日本学部		国際日本学科	180	3,743	1,273	2,470	3,653	1,237	2,416	788	265	523	450	335	74.4	4.6	
総合数理学部		現象数理学科	32	1,049	862	187	930	760	170	202	165	37	320	256	80.0	4.6	
		先端メディアサイエンス学科	40	1,160	929	231	1,016	815	201	197	159	38	320	248	77.5	5.2	
		ネットワークデザイン学科	32	466	393	73	415	351	64	110	89	21	320	216	67.5	3.8	
		計	104	2,675	2,184	491	2,361	1,926	435	509	413	96				4.6	
一般選抜入学試験 合計			3,428	59,336	40,453	18,883	54,943	37,465	17,478	12,094	8,298	3,796				4.5	

②大学入試センター試験利用入学試験結果

	学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			競争率 受験者/ 合格者			
			計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子				
法 学 部	3科目方式	法律学 科	50	1,903	1,275	628	1,898	1,270	628	354	217	137	5.4		
	4科目方式	法律学 科	40	731	512	219	728	509	219	320	215	105	2.3		
	5科目方式	法律学 科	30	798	598	200	795	595	200	353	266	87	2.3		
	計		120	3,432	2,385	1,047	3,421	2,374	1,047	1,027	698	329	3.3		
商 学 部	3科目方式	商 学 科	50	2,444	1,667	777	2,433	1,657	776	385	229	156	6.3		
	4科目方式	商 学 科	40	1,140	812	328	1,134	808	326	325	230	95	3.5		
	6科目方式	商 学 科	15	1,027	767	260	1,024	765	259	324	239	85	3.2		
	計		105	4,611	3,246	1,365	4,591	3,230	1,361	1,034	698	336	4.4		
政 治 経 済 学 部	3科目方式	政 治 学 科	15	662	444	218	660	443	217	93	50	43	7.1		
		経 済 学 科	25	1,037	829	208	1,034	826	208	130	91	39	8.0		
	7科目方式	政 治 学 科	15	507	382	125	506	381	125	316	235	81	1.6		
		経 済 学 科	50	1,739	1,451	288	1,721	1,438	283	872	732	140	2.0		
		地 域 行 政 学 科	15	235	168	67	235	168	67	101	69	32	2.3		
計		120	4,180	3,274	906	4,156	3,256	900	1,512	1,177	335	2.7			
前 期 日 程 文 学 部	3科目方式	文 学 科	日本文学専攻	6	415	165	250	411	162	249	71	25	46	5.8	
			英米文学専攻	6	340	132	208	338	132	206	50	18	32	6.8	
			ドイツ文学専攻	2	103	52	51	102	52	50	15	6	9	6.8	
			フランス文学専攻	2	72	25	47	68	22	46	11	5	6	6.2	
			演劇学専攻	3	194	56	138	193	56	137	16	2	14	12.1	
			文芸メディア専攻	4	324	136	188	324	136	188	43	17	26	7.5	
		史学地理学科	日本史学専攻	5	357	208	149	357	208	149	53	22	31	6.7	
			アジア史専攻	3	70	42	28	70	42	28	17	8	9	4.1	
			西洋史学専攻	4	213	117	96	213	117	96	41	23	18	5.2	
			考古学専攻	3	132	66	66	132	66	66	17	6	11	7.8	
			地理学専攻	4	108	77	31	108	77	31	22	14	8	4.9	
			心理社会学科	臨床心理学専攻	4	271	104	167	269	103	166	33	8	25	8.2
	現代社会学専攻	4	202	83	119	199	80	119	40	14	26	5.0			
	5科目方式	文 学 科	日本文学専攻	3	78	34	44	76	33	43	28	13	15	2.7	
			英米文学専攻	3	86	47	39	83	45	38	24	15	9	3.5	
			ドイツ文学専攻	2	25	12	13	23	11	12	3	1	2	7.7	
			フランス文学専攻	2	33	18	15	33	18	15	8	4	4	4.1	
			演劇学専攻	2	31	11	20	30	11	19	7	1	6	4.3	
			文芸メディア専攻	2	58	22	36	56	20	36	18	3	15	3.1	
		史学地理学科	日本史学専攻	3	115	78	37	113	77	36	34	21	13	3.3	
			アジア史専攻	2	14	8	6	14	8	6	5	3	2	2.8	
			西洋史学専攻	2	70	42	28	69	41	28	20	12	8	3.5	
			考古学専攻	2	43	24	19	42	24	18	16	11	5	2.6	
			地理学専攻	2	51	38	13	50	37	13	12	9	3	4.2	
			心理社会学科	臨床心理学専攻	2	77	29	48	74	27	47	16	2	14	4.6
			現代社会学専攻	2	76	36	40	74	35	39	21	8	13	3.5	
計			79	3,558	1,662	1,896	3,521	1,640	1,881	641	271	370	5.5		
理 工 学 部	3教科方式	電気電子生命学科	10	822	755	67	818	751	67	196	180	16	4.2		
		機械工学科	5	991	948	43	987	944	43	246	229	17	4.0		
		機械情報工学科	9	575	534	41	574	533	41	164	153	11	3.5		
		情報科学科	7	1,107	987	120	1,104	984	120	210	186	24	5.3		
	4教科方式	電気電子生命学科	8	607	522	85	606	521	85	124	102	22	4.9		
		機械工学科	7	613	561	52	612	560	52	139	121	18	4.4		
		建築学 科	12	1,028	763	265	1,023	759	264	230	157	73	4.4		
		応用化学 科	7	1,080	795	285	1,078	793	285	251	175	76	4.3		
		数 学 科	4	485	410	75	483	408	75	142	121	21	3.4		
		物 理 学 科	7	612	542	70	610	540	70	152	130	22	4.0		
		計		76	7,920	6,817	1,103	7,895	6,793	1,102	1,854	1,554	300	4.3	

前期日程	学部・方式・学科(専攻)			募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			競争率 受験者/合格者
					計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	
農学部		農学	農学	15	720	476	244	717	473	244	195	131	64	3.7
		農芸化学	農芸化学	15	635	287	348	633	285	348	174	75	99	3.6
		生命科学	生命科学	15	929	544	385	927	542	385	241	134	107	3.8
		食料環境政策	食料環境政策	15	502	292	210	502	292	210	125	64	61	4.0
計				60	2,786	1,599	1,187	2,779	1,592	1,187	735	404	331	3.8
経営学部		経営学	経営学	20	1,144	818	326	949	687	262	255	168	87	3.7
		会計学	会計学	10	213	139	74	179	118	61	76	47	29	2.4
		公共経営学	公共経営学	5	89	58	31	76	50	26	36	27	9	2.1
		計			35	1,446	1,015	431	1,204	855	349	367	242	125
情報コミュニケーション学部	3科目方式	情報コミュニケーション	情報コミュニケーション	30	1,489	868	621	1,478	861	617	236	139	97	6.3
	6科目方式	情報コミュニケーション	情報コミュニケーション	10	256	146	110	254	144	110	63	36	27	4.0
	計			40	1,745	1,014	731	1,732	1,005	727	299	175	124	5.8
国際日本学部	3科目方式	国際日本	国際日本	20	1,386	511	875	1,384	510	874	273	91	182	5.1
	4科目方式	国際日本	国際日本	10	340	139	201	340	139	201	110	44	66	3.1
	計			30	1,726	650	1,076	1,724	649	1,075	383	135	248	4.5
前期日程 小計				665	31,404	21,662	9,742	31,023	21,394	9,629	7,852	5,354	2,498	4.0

後期日程	学部・方式・学科(専攻)			募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			競争率 受験者/合格者
					計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	
商学部		商学	商学	18	133	96	37	128	93	35	40	28	12	3.2
政治経済学部		政治学	政治学	5	22	13	9	18	12	6	8	6	2	2.3
		経済学	経済学	10	55	45	10	46	37	9	26	21	5	1.8
		地域行政学	地域行政学	5	17	12	5	16	11	5	6	3	3	2.7
		計			20	94	70	24	80	60	20	40	30	10
文学部	文学科	日本文学専攻	日本文学専攻	1	23	14	9	23	14	9	8	5	3	2.9
		英米文学専攻	英米文学専攻	1	24	12	12	23	11	12	6	2	4	3.8
		ドイツ文学専攻	ドイツ文学専攻	1	10	5	5	10	5	5	5	3	2	2.0
		フランス文学専攻	フランス文学専攻	1	9	3	6	9	3	6	4	0	4	2.3
		演劇学専攻	演劇学専攻	1	10	4	6	10	4	6	0	0	0	-
		文芸メディア専攻	文芸メディア専攻	1	13	8	5	13	8	5	4	2	2	3.3
	史学地理学科	日本史学専攻	日本史学専攻	1	20	14	6	20	14	6	4	4	0	5.0
		アジア史専攻	アジア史専攻	1	7	5	2	6	4	2	2	2	0	3.0
		西洋史学専攻	西洋史学専攻	1	15	8	7	15	8	7	5	2	3	3.0
		考古学専攻	考古学専攻	1	11	6	5	11	6	5	4	2	2	2.8
	心理社会学科	地理学専攻	地理学専攻	1	11	11	0	11	11	0	6	6	0	1.8
		臨床心理学専攻	臨床心理学専攻	1	22	8	14	22	8	14	8	2	6	2.8
		現代社会学専攻	現代社会学専攻	1	21	12	9	21	12	9	5	4	1	4.2
計				13	196	110	86	194	108	86	61	34	27	3.2
理工学部		電気電子生命学	電気電子生命学	4	62	47	15	61	46	15	29	19	10	2.1
		機械情報工学	機械情報工学	4	50	46	4	49	45	4	19	18	1	2.6
		建築学	建築学	3	47	31	16	46	31	15	18	12	6	2.6
		応用化学	応用化学	4	69	47	22	69	47	22	17	14	3	4.1
		情報科学	情報科学	2	43	34	9	43	34	9	16	12	4	2.7
		数学	数学	2	49	41	8	49	41	8	8	8	0	6.1
		物理学	物理学	2	41	35	6	41	35	6	4	2	2	10.3
計				21	361	281	80	358	279	79	111	85	26	3.2
後期日程 小計				72	784	557	227	760	540	220	252	177	75	3.0
大学入試センター試験利用入学試験 合計				737	32,188	22,219	9,969	31,783	21,934	9,849	8,104	5,531	2,573	3.9

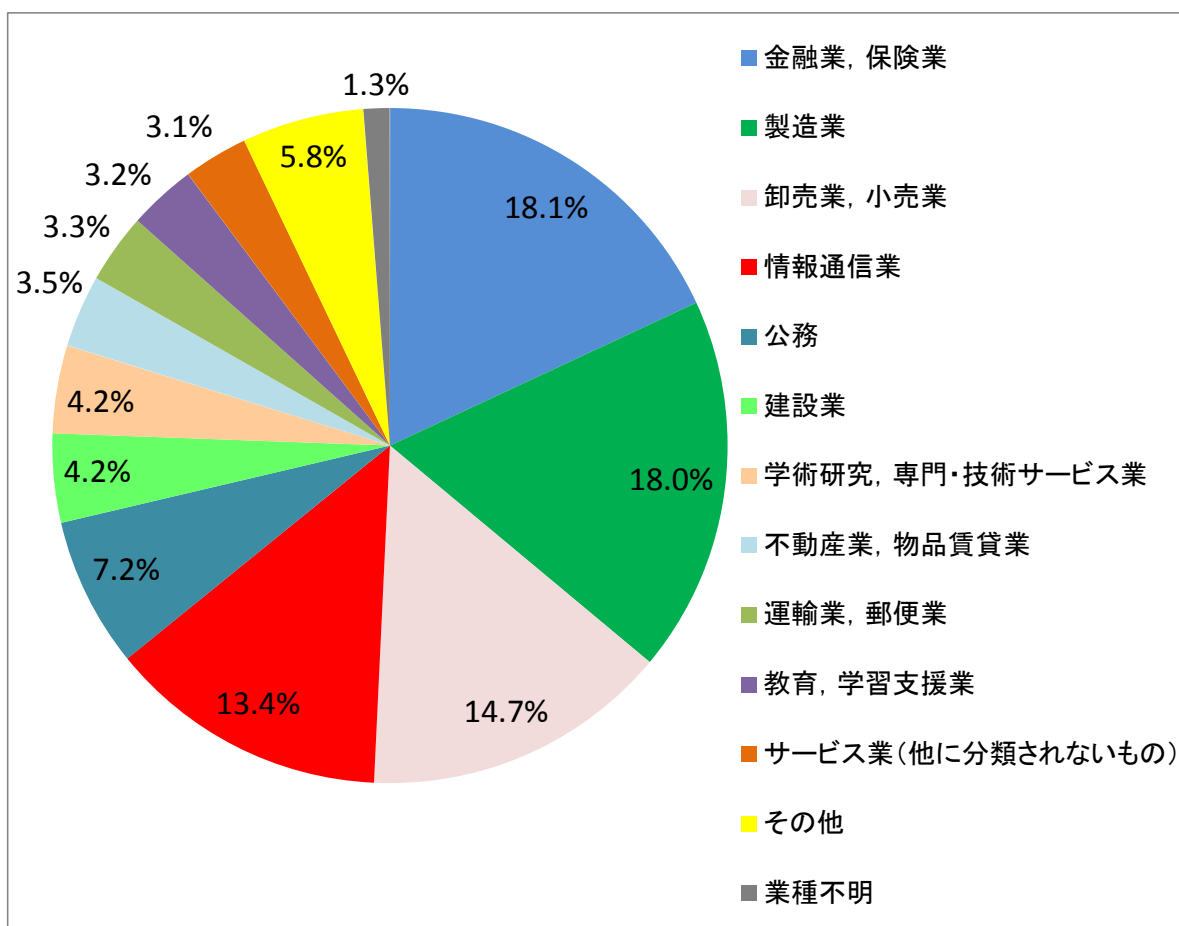
③全学部統一入学試験結果

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			満点	合格最低点	合格最低得点率	競争率 受験者/合格者		
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子						
法学部	100	1,813	1,239	574	1,752	1,196	556	330	244	86	300	238	79.3	5.3		
商学部	60	1,969	1,329	640	1,914	1,296	618	255	176	79	450	362	80.4	7.5		
政治経済学部	政治学専攻	15	185	127	58	123	87	36	37	31	6	450	324	72.0	3.3	
	経済学専攻	30	700	578	122	574	477	97	161	139	22	450	335	74.4	3.6	
	地域行政学専攻	10	99	75	24	58	45	13	14	12	2	450	314	69.8	4.1	
	計	55	984	780	204	755	609	146	212	182	30				3.6	
文学部	文学科	日本文学専攻	12	329	137	192	319	133	186	46	21	25	300	235	78.3	6.9
		英米文学専攻	12	311	137	174	300	130	170	46	19	27	300	236	78.7	6.5
		ドイツ文学専攻	2	93	44	49	90	43	47	11	5	6	300	238	79.3	8.2
		フランス文学専攻	3	108	37	71	106	36	70	11	6	5	300	234	78.0	9.6
		演劇学専攻	4	192	60	132	183	56	127	16	3	13	300	234	78.0	11.4
		文芸メディア専攻	5	314	118	196	307	115	192	27	9	18	300	245	81.7	11.4
	史学地理学科	日本史学専攻	9	286	174	112	281	171	110	44	30	14	300	243	81.0	6.4
		アジア史専攻	3	66	42	24	66	42	24	17	14	3	300	234	78.0	3.9
		西洋史学専攻	6	196	113	83	192	110	82	29	19	10	300	239	79.7	6.6
		考古学専攻	3	111	60	51	110	60	50	12	10	2	300	239	79.7	9.2
		地理学専攻	4	121	90	31	120	90	30	18	13	5	300	238	79.3	6.7
	心理社会学科	臨床心理学専攻	8	256	93	163	243	89	154	32	11	21	300	235	78.3	7.6
現代社会学専攻		8	207	99	108	203	97	106	38	22	16	300	234	78.0	5.3	
計	79	2,590	1,204	1,386	2,520	1,172	1,348	347	182	165				7.3		
理工学部	電気電子生命学科	22	490	436	54	463	413	50	112	106	6	400	290	72.5	4.1	
	機械工学科	12	460	436	24	426	405	21	83	77	6	400	300	75.0	5.1	
	機械情報工学科	12	282	269	13	266	254	12	54	52	2	400	289	72.3	4.9	
	建築学科	16	457	339	118	437	324	113	69	46	23	400	293	73.3	6.3	
	応用化学科	11	601	437	164	565	410	155	97	68	29	400	302	75.5	5.8	
	情報科学科	8	444	395	49	424	375	49	59	51	8	400	296	74.0	7.2	
	数学科	5	246	217	29	232	204	28	52	49	3	400	288	72.0	4.5	
	物理学科	5	198	184	14	187	175	12	42	40	2	400	300	75.0	4.5	
計	91	3,178	2,713	465	3,000	2,560	440	568	489	79				5.3		
農学部	農学科	15	571	395	176	545	373	172	76	52	24	300	222	74.0	7.2	
	農芸化学科	15	491	227	264	474	216	258	58	24	34	300	221	73.7	8.2	
	生命科学科	10	579	339	240	546	316	230	64	37	27	300	224	74.7	8.5	
	食料環境政策学科	10	369	215	154	352	204	148	49	29	20	300	225	75.0	7.2	
計	50	2,010	1,176	834	1,917	1,109	808	247	142	105				7.8		
経営学部	経営学科	20	1,322	961	361	1,286	934	352	188	144	44	350	275	78.6	6.8	
	会計学科	5	284	186	98	278	182	96	45	30	15	350	270	77.1	6.2	
	公共経営学科	5	206	139	67	199	135	64	32	22	10	350	270	77.1	6.2	
計	30	1,812	1,286	526	1,763	1,251	512	265	196	69				6.7		
情報コミュニケーション学部	情報コミュニケーション学科	20	1,285	715	570	1,240	688	552	156	89	67	350	272	77.7	7.9	
国際日本学部	国際日本学科	28	1,210	463	747	1,181	453	728	118	48	70	400	324	81.0	10.0	
総合数理学部	3科目方式	現象数理学科	13	163	109	54	147	98	49	39	25	14	400	262	65.5	3.8
		先端メディアサイエンス学科	15	230	154	76	204	131	73	58	35	23	400	256	64.0	3.5
		ネットワークデザイン学科	11	69	53	16	59	43	16	16	12	4	400	241	60.3	3.7
	4科目方式	現象数理学科	14	417	338	79	402	327	75	104	88	16	500	337	67.4	3.9
		先端メディアサイエンス学科	20	548	429	119	534	417	117	132	104	28	500	326	65.2	4.0
		ネットワークデザイン学科	17	132	109	23	124	103	21	42	34	8	500	300	60.0	3.0
計	90	1,559	1,192	367	1,470	1,119	351	391	298	93				3.8		
全学部統一入学試験 合計		603	18,410	12,097	6,313	17,512	11,453	6,059	2,889	2,046	843				6.1	
一般入試総計		4,768	109,934	74,769	35,165	104,238	70,852	33,386	23,087	15,875	7,212				4.5	

全学部統一入学試験

(4) 業種別就職状況及び主な就職先

①業種別就職状況



②主な就職先

順位	内定先名称	人数
1	ソフトバンクグループ	59
2	東京特別区	48
3	(株)三菱東京UFJ銀行	46
4	(株)みずほフィナンシャルグループ	44
5	東日本旅客鉄道(株)	36
6	(株)三井住友銀行	31
7	日本郵政グループ	28
8	りそなグループ	26
9	野村証券(株)	25
10	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	24
10	積水ハウス(株)	24
12	(株)大和証券グループ本社	22
13	国家公務員 一般職	21
14	大和ハウス工業(株)	20
15	警視庁	18
15	ヤフー(株)	18
17	東京都庁	17
17	第一生命保険(株)	17
19	(株)千葉銀行	16

順位	内定先名称	人数
19	三菱電機(株)	16
19	日本生命保険(相)	16
22	イオンリテール	15
22	キヤノン(株)	15
22	ファーストリテイリンググループ	15
25	(株)損害保険ジャパン	14
26	(株)エイチ・アイ・エス	13
26	(株)京葉銀行	13
26	SMBC日興証券(株)	13
26	(株)ニトリホールディングス	13
26	(株)セブン-イレブン・ジャパン	13
31	(株)ワークスアプリケーションズ	12
31	(株)静岡銀行	12
31	明治グループ	12
31	東海旅客鉄道(株)	12
35	埼玉県庁	11
35	日本電気(株)	11
35	裁判所職員	11
35	本田技研工業(株)	11

2013年3月31日現在